



No.860

2025 May

FREE

ご自由にお持ちください。



岐阜県の森林・林業 森のたより

令和6年度 治山・林道写真コンクール表彰作品

最優秀賞



林道（恵那農林事務所 池田毅さん）



治山（揖斐農林事務所 木田卓也さん）

開催日	行事名等	内 容 等	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
5月31日(土)まで	緑の募金(春期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに家庭募金、企業募金、職場募金などを行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 TEL:058-273-7577
6月上旬～ 12月上旬まで 計7回	狩猟免許試験	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●開催日時は県HPをご確認ください。 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記 にお問い合わせください。	県HPをご確認ください。 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 TEL:058-272-8231



イベントカレンダー(一般向け).....	2
森林研究所の研究成果が第4回Digi田(デジでん)甲子園において内閣総理大臣賞(優勝)を受賞!.....	3
G-クレジット制度プロジェクト登録証交付式を開催しました.....	4
岐阜県地域森林監理士の認定について.....	4
令和7年度 岐阜県林政部予算のあらまし.....	5
令和6年度 岐阜県治山林道技術成果発表会.....	8
令和6年度治山林道写真コンクール入選作品決定!.....	9
能登への応援派遣ご苦労様でした!.....	10
シリーズ役立っています!「森林環境譲与税」.....	11
山の歳時記 ²³⁷ ザイフリボク.....	12
シリーズ『ぎふ木育全県展開』⑤ 可茂地域.....	13
ぎふ木遊館通信.....	14
morinos プログラム紹介!!.....	15
森林と人を活かす知恵 ¹⁴⁸	16
森林・林業のこれからの可能性を考える.....	17
木の香るぎふの施設 ¹⁴⁵ J Aにしみの養老南支店.....	18
シリーズ『森林・環境税』で「緑豊かな清流の国ぎふづくり」(1).....	19
研究コーナー 災害に強い森林作業用道路の適地を見る化!.....	20
路網整備難易度推定図を公開しています.....	21
普及コーナー 下呂地域における林業普及活動.....	22
森林技術開発・支援センター 林業普及通信.....	23
国有林の現場から ¹⁰³	24
「金華山を火災から守れ!」消防訓練が行われました.....	24
林業者向けお知らせ.....	24
市況.....	24

目次 Contents

今月の表紙

森保実習

令和6年度治山・林道写真コンクール最優秀作品のご紹介
(治山の部) 損斐川町地内で令和5年8月の豪雨により山腹崩壊と土砂流出等が発生した現場。治山事業により法枠工等を実施し、令和6年9月に復旧。
(林道の部) 恵那市の中学校建設用木材の調達のため、市有林材を伐採・搬出した現場。林道に集積し、造材からトラックへの積み込みを効率的に実施。

森林研究所の研究成果が 第4回 Digi田 (デジでん) 甲子園において 内閣総理大臣賞 (優勝) を受賞!

森林研究所の臼田主任専門研究員の研究成果である「デジタル地図で災害に強い森林作業用道路の適地を見える化!」が内閣府主催の第4回Digi田(デジでん)甲子園の審査委員会選考枠(地方公共団体部門)において内閣総理大臣賞(優勝)を受賞しました。Digi田甲子園で県内での内閣総理大臣賞受賞は初となります。

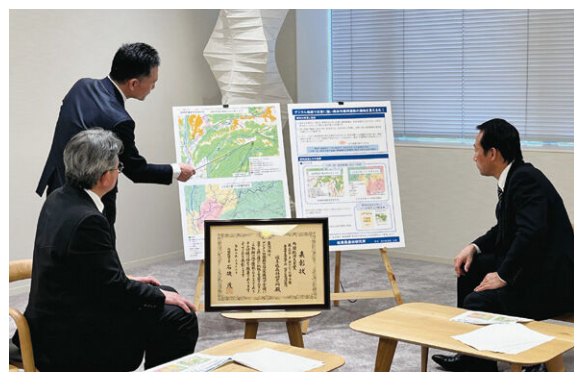
表彰式は令和7年3月13日に首相官邸で行われ、石破内閣総理大臣から表彰状が授与されました。また、同月21日江崎岐阜県知事に受賞報告をしました。



石破総理大臣との記念撮影



江崎岐阜県知事への報告



≫ 第4回 Digi田 (デジでん) 甲子園の概要

Digi田(デジでん)甲子園とは、内閣府が地方公共団体、民間企業・団体など様々な主体がデジタルの力を活用して地域課題の解決等に取り組む事例を幅広く募集し、優れたものを表彰する取組です。

第4回Digi田甲子園においては、全国から集まった多数の応募事例の中から55件の本選出場者が選出され、インターネット投票と審査委員会評価により受賞者が決定されました。

≫ 受賞した臼田主任専門研究員のコメント

数多くの素晴らしい応募事例の中から、この取り組みが高く評価され、内閣総理大臣賞という栄誉ある賞をいただくことができ、大変光栄に存じます。また、取り組みを進めるうえでご協力いただいた共同研究者やご助言をいただいた方々に感謝いたします。

この研究は、「道づくりに関連する土砂災害によってつらい目にあう人をなくしたい」という思いから始めました。災害の未然防止には研究成果の活用はとても有効であると自信を持っています。今後も岐阜県だけでなく全国にも研究成果の活用を広め、災害に強い森林づくりに貢献していきたいと思っています。

(参考) エントリーした研究成果に関する情報

本誌今月号の研究コーナー(19ページ)および下記リンク先の当所ウェブサイトで確認できます。

<https://www.forest.rd.pref.gifu.lg.jp/shiyou/santisaigairisk.html> 【森林研究所 中通 実】



G-クレジット制度プロジェクト登録証交付式を開催しました

G-クレジット制度の登録証交付式を令和7年3月25日（火）に開催し、新たに15者・16件のプロジェクトを登録しました。これで登録プロジェクトは22件となりました。今後、二酸化炭素吸収量を検証し、令和7年6月以降に約5,000t-CO₂のクレジットを認証する予定です。

なお、令和7年度からG-クレジットを5t-CO₂以上購入した場合、県発注委託事業（公募型プロポーザル方式の一部）において評価されません。今後もG-クレジットの活用方法を拡充し、取引の活性化を図っていきます。



新たに登録したプロジェクト（申請順）

	プロジェクト実施者	実施場所		プロジェクト実施者	実施場所
1	(有)大原林産・郡上森づくり協同組合	郡上市	9	中津川市森林組合	中津川市
2	中濃森林組合	美濃市	10	南ひだ森林組合	下呂市
3	陶都森林組合	瑞浪市	11	岐阜中央森林組合	山県市
4	恵那市	恵那市岩村町	12	NPO法人奥矢作森林塾	恵那市串原
5	恵那市	恵那市上矢作町	13	はざわらe(株)	下呂市
6	(株)金山チップセンター	下呂市金山町	14	高山市	高山市
7	(有)フォレスト板取	関市板取	15	飛騨高山森林組合	白川村
8	可茂森林組合	美濃加茂市	16	錦津生産森林組合	八百津町

問い合わせ先

G-クレジット制度運営事務局

受付時間：平日（月～金）9:00～17:00 TEL:058-201-5112

E-mail: gcredit-gifu@g-moriren.co.jp Webサイト: <https://gcredit-gifu.jp>

制度管理者：森林活用推進課森林吸収源対策室森林吸収源対策係
TEL:058-272-1111（内4346）



事務局
Webサイト

岐阜県地域森林監理士の認定について

県では、平成29年度から、地域における森林の管理及び経営に必要な専門知識・技術を有し、市町村林務行政の支援や民有林経営への助言等を行う人材を「岐阜県地域森林監理士」として認定しています。

令和6年度は新たに以下の3名を認定し、認定者は合計39名となりました。県のホームページで、岐阜県地域森林監理士の名簿を公開していますので、関心がある方や支援を受けたい方はぜひご覧ください。

新たに岐阜県地域森林監理士に認定された方々のご活躍を期待しています。

認定番号	氏名	所属
第R06-01号	こいけ のりかず 小池 徳一	下呂市役所
第R06-02号	おおさき まさひで 大崎 正秀	丸ス産業株式会社
第R06-03号	わに れいじ 和仁 礼二	下呂市役所



岐阜県地域森林監理士に認定された方々

県ホームページURL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/16703.html>

お問い合わせ

森林活用推進課 森林吸収源対策室 森林吸収源対策係 TEL:058-272-8821

岐阜県林政部予算のあらまし

林政部の令和7年度一般会計当初予算の総額は、181億3,896万3千円で、前年度と比較して17億7,162万7千円の減額、率にして8・9%の減となっています。

林政部では、令和4年度にスタートした「第4期岐阜県森林づくり基本計画」に基づき、各種施策を進めているところです。

計画の施策の柱は3本あり、1つ目は「森林づくりの推進」です。近年の豪雨災害により、森林・林業分野でも多大な被害が発生したことを受け、「災害に強い循環型の森林づくり」を推進します。また、担い手不足に対応するため、「森林技術者の確保・育成・定着」に引き続き取り組みます。

2つ目は「林業・木材産業の振興」です。令和5年4月に施行した「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、県有施設や民間施設等の木造化、内装木質化等を進めるほか、県産木製品等の輸出の促進や県民及び事業者の県産材利用への理解の醸成などを図り、「都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大」を推進します。

また、県産材の安定供給に向け、「DXの推進による林業・木材産業改革」を進めます。

さらに、木材需要の中で燃料材の占める割合が全国的にも増えていることから、これまでの森林整備に加え燃料材主体であっても収益が期待できる多様な森林づくりを進めます。

3つ目は「森林の新たな価値の創造と山村地域の振興」です。森林空間を活用し、新たな雇用と収入を生み出す森林サービス産業を引き続き育成するほか、健全で豊かな森林づくりと「脱炭素社会ぎふ」の実現に向け、G・クレジット制度の創出拡大及び活用方法の拡充による魅力向上、県営林でのJ・クレジットの取得・販売を推進します。

以下、主な事業をご紹介します。

重点施策・森林づくりの推進

1 激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化

頻発化、激甚化の傾向にある豪雨災害から、県民の生命・財産を守り林業の振興を図るため、治山施設と森林整備を組み合わせた事前防災対策を進め、山地防災力の維持・強化と災害に強い森林作業道の整備を推進します。

(1) 治山施設と森林整備を組み合わせた事前防災地区による面的防災力の強化

(947,200千円)

・市町村や林業事業体と連携した事前防災地区を設定し、間伐などの森林整備と、不安定土砂の移動を防ぐダム等の設置等の治山対策を総合的に実施

(2) 山地災害危険地区における治山施設整備の推進

(3,068,404千円)

・防災・減災、国土強靱化対策として、災害発生リスクが高い山地災害危険地区において治山施設の整備を推進

(3) 地形情報のオープンデータ化等DXによる山地災害対応力の強化

(3,200千円)

新 災害復旧等に有効活用できる航空レーザ測量データをオープンデータ化

・山間奥地の工事における通信環境向上のため、建設事業者の衛星通信サービス設備導入を支援

(4) 災害に強い作業道づくりの推進

(7,500千円)

・木材搬出等を予定している既設作業道について、安全性や耐久性を向上させるため、路盤や排水処理施設の整備等の機能強化を支援

2 100年先を見据えた森林づくりの方向性と仕組みづくり

100年先の望ましい森林の姿を示す「森林配置計画」に沿った森林づくりを促進するとともに、花粉発生源のスギ人工林を令和15年度ま

でに約2割減少させることを目指して花粉発生源対策に取り組めます。

(1) 人工林における主伐・再造林への支援

(708,751千円)

・森林の若返りや花粉発生源となるスギ人工林の伐採・植替えを推進するため、主伐・再造林に要する経費を助成

・低コスト再造林を推進するため、地域で組織された再造林基金団体を対象に、再造林支援等に要する経費を助成

(2) 花粉の少ないスギ等の種子増産に向けた体制整備

(35,059千円) 3月補正含む

・林木育種事業地の採種圃の整備を加速させるとともに、母樹用苗木のクローン増殖を実施

(3) 再造林にかかる獣害対策への支援

(4,531千円)

・ニホンジカ等による苗木の被害を防ぐための防護柵の設置に加え、新たに維持管理体制の整備等に要する経費を助成

新 再造林時に設置後不要となった幼齢木保護材について、マイクロプラスチック問題防止のため、撤去・処分に必要な経費を助成

(4) 環境保全林等における間伐等への支援

(3,517,602千円) 1部再掲

・「森林配置計画」の配置区分である木材生産林や環境保全林の目的に沿った間伐等の森林整備に要する経費を助成

3 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

「地域森林管理支援センター」の運営や、「岐阜県地域森林監理士」の活用支援等により、市町村による森林経営管理制度の取組みを支援します。

(1) 「地域森林管理支援センター」の運営

(34,714千円)

・市町村の林務行政を支援するため、「地域森林管理支援センター」において市町村からの相談対応や専門家への相談幹旋、市町村林務担当職員向けの研修等を実施

(2) 「岐阜県地域森林監理士」の養成

(4,846千円)

・森林管理・経営に必要な専門的な知識・技術を有する「岐阜県地域森林監理士」を養成・認定

(3) 岐阜県地域森林監理士の活用支援

(12,376千円)

・市町村の林務行政の支援や林業事業体の経営体質を強化するため、「岐阜県地域森林監理士」の活用に必要な経費を助成

(4) 森林整備の推進に向けた境界明確化への支援

(1,000千円)

・国庫補助の対象とならない森林において境界明確化を行う林業事業体に対し、作業に必要な経費を助成

4 森林技術者の確保・育成・定着

「森のジョブステーション」を核に引き続き森林技術者の確保・育成・定着に取り組むとともに、林業を取り巻く諸課題に対応することができる森林技術者の育成、定着に取り組む。

(1) 高度な架線技術者・獣害対策技術者の育成

(9,600千円)

・急峻な地形でも木材搬出可能な架線技術のOJT研修を支援

新 森林文化アカデミーにおいて新たに高度な架線技術・獣害対策等の技術を有する人材を育成

・森林文化アカデミー学生への技能講習等の受講支援

(4,693千円)

新 (2) 森林文化アカデミー校舎改修及び実践的教育の実施

・林業就業希望の学生に対し、技能講習実施機関が実施する林業就業に必要な資格取得に必要な経費を支援

(8,750千円)

新 (3) 森林文化アカデミー校舎改修及び実践的教育の実施

・校舎の長寿命化のための劣化対策及びカーボンニュートラル社会の実現に向けた温暖・省エネ改修の実施設計を行うとともに、先進的な大型木造改修事例として、調査・計画・設計及び改修後のデータ取得・分析を取り入れた授業を実施

(4) 移住者等への林業就業支援

(29,300千円)

・県外から移住し林業に就業した者に対する就業支援金や、森林文化アカデミー学生に向けた林業への就業準備金を給付

(5) 岐阜県伐木安全技術評価会の開催

(6,260千円)

・森林技術者や林業を志す学生が安全意識とチェーンソー操作技術の向上を目指す伐木安全技術評価会を開催

新 (6) 日独林業シンポジウムの開催

(4,800千円)

・森林文化アカデミーとドイツロッテンブルク林業大学の連携協定締結10周年を記念したシンポジウムを開催

重点施策・林業・木材産業の振興

5 都市の木造化・脱炭素社会の実現に向けた県産材の需要拡大

県民や事業者の県産材利用への理解を深めるため、令和5年4月に施行した「岐阜県木の国・山の国県産材利用促進条例」に基づき、建築物等への県産材利用の促進、輸出の促進、県民及び事業者への理解の醸成などを図り、県産材の需要拡大を推進します。

(1) 県産材を活用した住宅への支援

(80,640千円)

・木造住宅の新築又は改修において、県産材を一定量以上使用した建築主や、県産材住宅の建設拡大を図る産直住宅建設団体を支援

・県産材を使ったりノベーションへの支援策を検討

(2) 協定に基づく非住宅建築物での木造化等への支援

(317,358千円)

・県と協定を締結した事業者が行う非住宅建築物の木造化、内装木質化、木製品導入等の県産材利用に必要な経費の一部を助成

新 (3) 中大規模木造建築の技術開発に係る基本構想策定

(1,000千円)

・中大規模建築物の木造化・木質化の推進に必要な技術支援及び試験研究体制の再構築に向けて、外部有識者等で構成する検討委員会を設置し、基本構想を策定

(4) 首都圏、関西圏への販路拡大

(7,602千円)

・東京・大阪で開催される住宅資材等の展示会に出展するとともに、首都圏・関西圏に県産材製品の軒旋等を行う相談窓口を設置

(5) 欧州等への高付加価値木製品の輸出促進

(12,500千円)

・木製家具など高付加価値製品の欧州等での販路開拓に向け、見本市への出展、輸入規制に関する勉強会の開催、デザイン指導など製品ブラッシュアップへの支援などを実施

(6) 地産地消型の木質バイオマス燃料の利用促進

(2,985,300千円)【一部再掲】

・木質バイオマスの熱利用を進めるため、アドバイザーの派遣や施設の導入等を支援

・森林整備事業等による間伐材などの搬出を通じて、燃料材の供給を支援

6 需要に合わせ柔軟かつ迅速に対応する木材サプライチェーンの構築

ウッドショックのような急激な需給変動や、輸入材から国産材への転換に対応するため、木材生産から加工・流通過程のデジタル化を進め、需給調整を行う体制を確立するとともに、品質の確かな製材品等の増産を支援し、需要の変化に迅速に対応できるサプライチェーンの構築を促進します。

(1) 広葉樹の新たなサプライチェーンの構築

(2,255千円)

・ナラ枯れ被害のまん延を防止するとともに、未被害木の有効活用のため、ナラ類の伐採等に要する経費の一部を助成

・地域の広葉樹を家具や内装材に利用するため、生産・加工・流通・販売等のサプライチェーン構築に取り組む団体を支援

(2) ICT等を導入する事業者への支援

(11,317千円)

・ICT等の新技術の活用により、適正な森林管理、効率的な林業生産、作業安全性の向上促進等に取り組む林業事業体を支援

・業務改善を促進する専門家の派遣等を実施

(3) 住宅建築情報や木材需給情報を共有するシステム構築への支援

(8,000千円)

・県産材住宅の建設促進に向けて生産・流通・販売の連携を強化し、需給調整や販路拡大に取り組む団体を支援

・木材の生産・流通効率化に向けたデジタル化に必要な経費の一部を助成

(4) 中小製材工場の新製品開発等に係る支援

(12,700千円)

・中小の製材事業者の強みを生かした新製品の開発・普及のための検討会を新たに開催

・製材工場などの労働環境改善に向けた施設整備等に要する経費の一部を助成

7 木材の安定供給と森林所有者への利益還元

需給変動に柔軟かつ迅速に対応した原木の効率的・安定的な供給と森林所有者への利益還元を図るため、燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」の支援とともに、スマート林業の普及、森林経営計画の策定促進及び林道等の整備により木材生産性向上を図ります。

新 (1) 燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」の推進

(19,826千円)

・エネルギーの森の実証に取り組み事業者に対し、実証にかかる経費の一部を助成するとともに、エネルギーの森の整備に取り組み事業者に対し、燃料材の搬出経費等の一部を助成

新 (2) 森林経営計画策定促進に向けた森林クラウドシステムの機能拡充

(9,870千円)

・森林の境界明確化や森林経営計画の策定促進に資する情報を共有できる機能を「森林クラウドシステム」に追加

(3) スマート林業普及のための林業イノベーションポータルサイト整備

・林業DXに資する情報を一元的に参照することができるとポータルサイトを新たに構築

(4) 林道等路網整備の推進

(1,560,130千円)

・市町村が行う林道の整備に要する経費を助

成するとともに、基幹的な林道及び林業專用道を県が代行して整備

重点施策・森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

8 新たな雇用と収入を生み出す森林サービス産業の育成

社会のデジタル化が進むなか、森林がもたらす癒しの享受や五感で自然を体験することへのニーズが高まっている一方、山村地域では産業の停滞や若者の流出が課題となっていることから、山村地域に新たな雇用と収入機会、関係人口を生み出す森林サービス産業を育成します。

(1) 専門家派遣等による事業者への伴走型支援 (11,540千円)

・新たに森林サービス産業を実施する事業者に対するプランナー派遣等の伴走型支援や、事業実施に要する初期費用を支援

(2) インバウンド受入れ事業者への支援 (960千円)

・インバウンドに対応した事業者の先進事例を学ぶセミナーを開催

(3) 森林サービス産業全国交流会の開催 (3,059千円)

・全国の先進事例を学び、実践者と交流を図る「森林サービス産業全国交流会」を開催

・森林空間の活用に必要な知識を習得するための研修会等を開催

(4) 「ぎふ森フェス」の開催等による森林サービス産業の普及啓発と育成 (5,326千円)

・県内各地の森林体験プログラムを掘り起こし、磨き上げるため、「ぎふ森のある暮らし推進協議会」が主催する「ぎふ森フェス」や会員同士の交流会の開催を支援

9 カーボンニュートラルの実現に向けた取組み

健全で豊かな森林づくりと「脱炭素社会きふ」の実現に向け、二酸化炭素吸収源としての森林の活用を推進します。また、木質バイオマスのエネルギー利用を進めるため、燃料材林(エネ

ルギーの森)の整備に取り組みます。

(1) Gークレジット制度の推進 (34,260千円)

・Gークレジットの取引活性化に向け、クレジットの創出拡大及び活用方法の拡充による魅力の向上

(2) 県営林Jークレジットの取得・販売の推進 (8,360千円)

・県営林において、Jークレジット制度に基づき認証されたクレジットを販売するとともに、新たなクレジットの取得を推進

(3) 企業との協働による森林づくりの推進 (601千円)

・市町村と連携し、森林づくり活動に意欲のある企業等の活動を支援する。また、「岐阜県地球環境の保全のための森林づくり条例」に基づき、企業等の森林づくり活動による二酸化炭素吸収量を認定

(4) 燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」の推進 (19,826千円)【再掲】

・エネルギーの森の実証に取り組む事業者に対し、実証にかかる経費の一部を助成するとともに、エネルギーの森の整備に取り組む事業者に対し、燃料材の搬出経費等の一部を助成

10 「ぎふ木育30年ビジョン」の実現に向けた「ぎふ木育」の推進

森林・林業に対する県民の意識を醸成するため「ぎふ木遊館」と「森林総合教育センター(morinos)」を核として、森や木に親しみ、森とのつながりや森林文化の豊かさを段階的、継続的に学ぶ機会を提供します。

(1) 「ぎふ木遊館サテライト施設」等を活用した「ぎふ木育」の全県展開 (9,287千円)

・新たな「ぎふ木遊館サテライト施設」(郡上市・揖斐川町)の整備を支援
・既存のサテライト施設に対し、木育プロ

グラムを行う指導者の派遣やスタッフ育成のための研修を実施

・地域で活動する木育・森林環境教育の指導者が情報交換を行う交流会等の開催や民間事業者のノウハウを活用した地域版木育・森林環境教育プログラムの開発等を支援

(2) 「ぎふ木育コーディネーター」等の新たな資格制度の導入 (15,038千円)

・「ぎふ木育」を実施したい教育施設等に対し、地域の指導者の派遣を調整する「ぎふ木育コーディネーター」を新たに委嘱

・森林空間を活用した「ぎふ木育」を提供できる人材を育成する新たな「ぎふ木育指導員養成講座」を実施

(3) 「ぎふ木遊館、森林総合教育センター(morinos)」による出前プログラム等の実施 (86,177千円)

・「ぎふ木遊館」における木のおもちゃでの遊び等の木育体験や、「morinos」における森林環境教育体験を実施
・県内各地へ出向いて実施する「移動型ぎふ木遊館」、「森の出番プロジェクト」など魅力的で多様なプログラムをあらゆる世代を対象に実施

11 きのかなどの特用林産物の振興

原木などのきのこ生産資材の不足や価格高騰により、原木やおが菌等の生産資材の需給バランスが崩れつつあるため、県内産原木の安定供給を促進するとともに、生産資材の調達を支援します。また、薪ストーブ等の普及により薪の需要が増加しているため、薪生産量の拡大を促進します。

(1) 原木しいたけ生産への支援 (5,080千円)

・しいたけの原木生産者等による広葉樹の伐採、搬出路開設及び運搬に要する費用を支援
・原木しいたけに使用する広葉樹の伐採は人力による作業が多いため安全に伐採する技術や搬出に関する現地研修会を実施
・低質な原木でも一定のしいたけ発生量を確

保するため、通常より多く使用する種菌購入に要する経費を助成

(2) きのか類の生産資材高騰に対する支援 (8,209千円) 3月補正

・きのこ生産者が購入する生産資材の高騰分に対し助成

(3) 高級菌根性きのこ(黒トリュフ)栽培に関する技術開発 (441千円)

・令和6年も継続発生を確認した黒トリュフについて、短期間かつ安定的に発生させる技術の開発を実施

(4) 新生産者による設備導入への支援 (1,180千円)

・小規模な生産者等が行う、薪の材料となる原木の大径化にも対応した施設整備に要する経費の一部を助成

12 「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用した自然環境の保全・再生

管理不足の森林の増加、外来生物の繁殖、水環境の悪化などにより、森林や河川の持つ公益的機能の低下が懸念されていることから「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、人や仕組みをつくりながら、地域のニーズに沿って、自然環境の保全・再生や「脱炭素社会きふ」に向けた取り組みを行います。

(1) 森林部門 (1,097,359千円)

・奥地水源林の間伐、危険な樹木の除去、被害森林等での早生樹の植栽等の森林整備を支援

・啓発効果の高い公共施設等の木造化・内装木質化を支援するとともに、森や木、川に関する環境教育や「ぎふ木育」を推進

(2) 環境部門 (333,216千円)

・鳥獣被害対策として、ニホンジカやカワウ等の捕獲を支援するとともに、岐阜大学と共同で被害対策を推進

・自然生態系の保全のための河川清掃や魚道の改修等の実施

(3) 共通部門 (33,500千円)

・地域団体等が実施する自然環境保全の取組みを支援

令和6年度 岐阜県治山林道技術成果発表会

令和7年2月21日、岐阜県庁ミナモホールにおいて、令和6年度岐阜県治山林道技術成果発表会を開催しました。本発表会は、治山林道研究会員及び治山林道業務に携わる者が参集しての開催となり、参加者115名が、熱心に各発表及び話題提供者による講演を聴講しました。

発表会は、令和2年度の動画配信によるリモート開催より、治山、林道それぞれの部門毎に、参加者が投票して優秀発表を決める方式となっています。発表は、治山部門が3題、林道部門が1題あり、内容は、現在、治山林道が抱える課題の解決や森林土木の技術向上に繋がるもので、投票用紙のアドバイスや感想欄には、それぞれの発表に対して、多くのコメントが記載されており、各発表への関心の高さが伺えました。

●治山発表課題

【最優秀賞】

課 題	発 表 者
既設堰堤の嵩上げの設計に関連する基準の設定について	揖斐農林事務所 高橋 悠太郎 (研究グループ：岐阜、西濃、揖斐)
既設堰堤の嵩上げに関して、設計上必要なものの基準化されていない項目について検討結果を報告。	

【優秀賞】

課 題	発 表 者
溪間工の洗掘について ー治山施設の復旧方法（その3）ー	恵那農林事務所 吉良 信一郎 (研究グループ：恵那、下呂、飛騨)
令和4年度から収集した事例を踏まえ、長寿命化対策として新規設計にフィードバックすべき内容を報告。	

【奨励賞】

課 題	発 表 者
治山工事におけるICT活用事例	中濃農林事務所 林 巧真 (研究グループ：中濃、郡上、可茂、東濃)
治山工事におけるICT技術(3次元起工測量、3次元設計データの作成、ICT建設機械による施工(掘削工・法面整形工))の活用事例について報告。	

●林道発表課題

【優秀賞】

課 題	発 表 者
セメント安定処理工法に対する一考察	恵那農林事務所 村橋 卓也
林業専用道における路面洗掘防止対策として施工した、セメント安定処理工法の経済性、施工性について報告。	



発表の状況



治山、林道発表者

令和6年度 治山・林道写真コンクール入選作品決定!

治山事業や林道事業の役割を普及啓発するため、毎年治山・林道写真コンクールを実施しています。
本年度は、治山33点、林道33点の応募があり、入選作品17点が決定しました。
なお、最優秀作品は表紙をご覧ください。

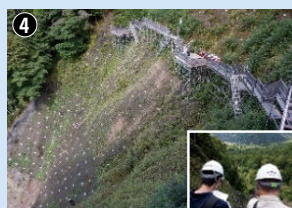
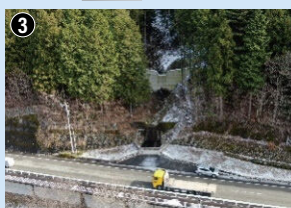
◆林道写真コンクール

部 門	写真番号	受賞区分	題 名	所 属	氏 名
森林施業	表紙	最優秀	中学校建築用材の搬出	恵那農林事務所	池田 毅
	①	優 秀	路網の活用	西濃農林事務所	井田 琢也
	⑤	入 選	冬間近	飛騨農林事務所	神戸 努
	⑥	入 選	間伐に活かされる林道	恵那農林事務所	村橋 卓也
地域振興	②	優 秀	新しい林道活用 世界ラリー選手権（WRC）	恵那市役所	安田 善博
	⑦	入 選	森林を愛むリレーションシップ・ロード	下呂農林事務所	下垣内友哉

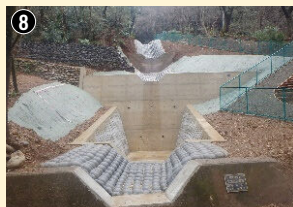
◆治山写真コンクール

部 門	写真番号	受賞区分	題 名	所 属	氏 名
一 般	表紙	最優秀	令和5年8月17日豪雨による山腹崩壊地の復旧	揖斐農林事務所	木田 卓也
	③	優 秀	保全対象を守る治山施設	下呂農林事務所	熊崎 貴之
	⑧	入 選	風致公園内での災害復旧事業	岐阜農林事務所	河本 俊哉
	⑨	入 選	下呂市と連携した治山事業	下呂農林事務所	坂下 一秀
木材・木製品使用	⑩	入 選	生活道路を守る谷止工&流路工	揖斐農林事務所	高橋悠太郎
	⑪	入 選	地域材の有効利用	西濃農林事務所	杉山 昇
森林整備	⑫	入 選	健全な森への第一歩	飛騨農林事務所	田中 沙紀
	⑬	入 選	事前防災地区 東木の実地区の森林整備	恵那農林事務所	長澤 康弘
総合利用・PR	⑭	優 秀	若手職員の育成に尽力いただきました	飛騨農林事務所	馬場 竣也
	⑮	入 選	事前防災地区整備プロジェクト「諸神」	中濃農林事務所	吉田 徹
	⑮	入 選	未来の職員へ	岐阜農林事務所	桂川 亮

優 秀 賞



入 選



●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8489 森林経営課 林道係まで



能登への応援派遣 ご苦労様でした！

令和6年能登半島地震の被災自治体に1年間派遣され、復旧にご尽力されました野田昌吾（現在「公益社団法人木曾三川水源造成公社業務課長」）さんにお聞きしました。

◆派遣先は？

震源となった珠洲市の南に位置する「能登町」です。人口は約1.5万人で、半数以上が65歳以上の高齢化が進んだ町に震度6強の地震が襲い、死傷者は78人、建物被害は9千棟を超える被害が発生していました。



多くの住宅が倒壊した状況

着任時は発災後3ヶ月が過ぎており、道路はある程度復旧していましたが、砂利道や凸凹が多く、3月31日、自家用車で岐阜から宿舎に向かうのに6時間かかりました。役場周辺は家屋が倒壊し、マンホールがあちこちで浮き上がっていました。また奥地では電気や水道が通っていませんでした。さらに、まだ多くの町民の皆さんが避難所で生活していました。



集団避難の状況

◆どんな仕事をされましたか？

林道災害に係る災害査定を担当業務でした。林道は79路線のうち76路線が被災しており、町の林道担当は他の

業務も多くあったため、主担当となり、1人ではできない測量は治山の担当者にも協力をいただき業務を進めました。7月からは神奈川県、9月からは大分県、さらに同月に発生した豪雨災害後は本県からも短期の追加派遣があり、計5人体制となりました。林道被害の特徴は盛土の路面の沈下、陥没が多く、法面崩壊は掘削面の表層崩壊で、調査における危険性はあまり感じませんでした。ただ被災調査で林道を7〜8km往復する日々が続き、夏場には茂った草木に邪魔され、辛かった時もありました。



路面の亀裂等の被害の典型的な状況

7月からは週1回ペースで国の査定が行われ、12月中旬に全ての朱入れが完了しました。査定路線数は54路線、査定箇所515箇所、総延長11km、査定総額は14億円強でした。査定後は順次実施設計の委託、河川部局等との調整、補助申請などを行っていましたが、

工事の本格的な開始は令和7年度からとなります。なお、9月の集中豪雨で新たな災害が発生し、査定も一時ストップした時はこの先どうなるのかと途方に暮れました。



9月の豪雨により陥没箇所が消失した現場

◆日々の生活はどうでしたか？

全国からの派遣職員は60人程で、仮設住宅が宿舎でした。コンビニやスーパーは既に営業しており、食事には不便を感じませんでした。仮設住宅の外観はプレハブですが内部は通常のマンションのようで快適に過ごせました。

連日山の中の肉体労働が多かったので、お酒とスタミナ重視の食生活でした。時には派遣仲間とU字溝を使ってバーベキューもやりました。また、町には全国から応援に来ており、そのおかげで居酒屋などは予約しないと入れないほど大変賑わっていました。



宿舎となった仮設住宅

◆派遣で感じたこと、学んだことは？

能登町の職員の皆さんは町民と直接接しているため、日々発生する問題や苦情に絶えず対応する必要がある、限られた人員で、これが数年続くこととなります。あらためてマンパワー不足を補うため、自治体間の連携などのサポートの大切さを痛感しました。

林道では、地震災害対策として盛土箇所のケアが重要であることや、本県のように降雨の多い地域ではやはり雨水処理をしつかりやること、災害を想定した迂回路づくり、復旧に当たっては優先度を付けるなど事前の対応が重要であると感じました。

◆最後に被災地への思いを！

能登町の復旧・復興には、過去の他県の被災事例からも10年以上を要すると思われま。町には現在、全国の自

治体やボランティアなどの関係者が応援に来ていますが、一段落したら居なくなっていく。さらに被災後多くの人が町から出ていかれ、災害のトラウマから戻る気になれない方も多いので、今後が心配です。



能登町農林水産課内の様子

町は自然豊かで皆様の中には海釣りに出かけられた方も多いと思います。宿泊地の確保はまだ難しいですが、道路は復旧しているので、能登の応援や被災状況を知ること、技術的に学ぶことも多いと思いますので、是非訪れていただきたいと思います。

最後に、令和7年度も2名が1年間応援派遣されています。皆様のご活躍により、被災地が早期に復旧することを祈念いたします。

シリーズ

役立っています!“森林環境譲与税” 5

手入れの行き届かない森林の整備や担い手の育成などの取組みを進めるための財源として、国から県や市町村へ森林環境譲与税が配分されています。このコーナーでは、県内市町村による森林環境譲与税の活用事例について連載で紹介いたします。

関ヶ原町 既存の庁内WebGISへの林地台帳機能の追加

取組みの背景

関ヶ原町では、森林整備を進めるにあたり、町外へ転出した森林所有者や境界不明森林の増加などのほか、既存システムでは、航空写真や都市計画図などの限られた情報しか表示できず、施業地の集約化等に必要の情報が整理されていないことが課題となっていました。

このため、森林所有者や森林の所在、規制区域などの情報を一元的に管理し、効率的に集約化計画を作成できるよう、令和5年度に林地台帳の機能を追加しました。なお、新規にシステムを開発・導入した場合、約5,000千円かかることが見込まれたため、既存システムへの機能追加を検討しました。

事業内容

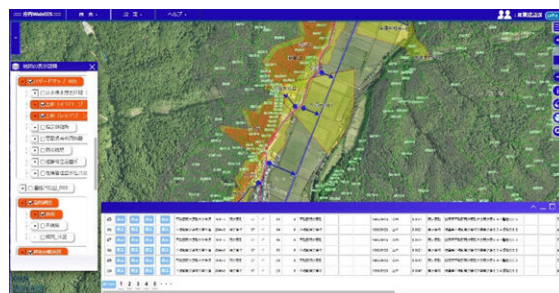
新規にシステムを開発・導入せず、既存システム（庁内WebGIS「都市計画支援システム」）に林地台帳の機能を追加しました。

取組みの効果

航空写真に規制区域などの情報とともに、林地台帳の所有者情報や森林計画図などの森林に関する情報を重ねることが可能となりました。

精度の高い資料をもとに意向調査や森林整備を進めることができるようになり、事業計画の変更が減少するなど円滑に事業の遂行ができています。

また、既存システムに機能を追加することで、新規の開発・導入と比べて、約3割導入経費を抑えることができました。



システムでの各種情報表示状況

お問い合わせ

森林環境譲与税について: 県森林活用推進課 森林吸収源対策室 森林吸収源対策係
関ヶ原町の取組みについて: 関ヶ原町 産業建設課 林務係

TEL:058-272-8821
TEL:0584-43-3054



ゴールデンウィークのある日、加茂郡東白川村の溪流沿いを走る車窓から、真っ白な花を咲かせたザイフリボクを見つけました。

ザイフリボク (*Amelanchier asiatica*) は岩手県や新潟県以南の本州、四国、九州の岩石地や花崗岩のやせ山の雑木林に分布するバラ科ザイフリボク属の落葉小高木です。

萌芽性が高いため伐採跡等では株立ちした個体が、春遅く新葉の展開と同時に枝先に白い花を咲か

せます。

樹皮は灰褐色〜暗褐色で古くなると褐色の縦筋が多くなり、若い枝は赤褐色を呈します。葉は互生し、形は楕円形で先端は鋭く尖り、基部は丸く、縁には浅く細い鋸歯があります。葉裏には白い綿毛が密生しますが、後に主脈を除いてほとんど無毛となります。

5月頃には枝の先端に5枚の細長く白い花弁を持った花を10個ほど咲かせます。この白い花が山で揺れる姿を采配(さいはい)に見立てたとされます。

「采配」とは大河ドラマなどで見る武将が、戦国時代の戦場で指図に使った房付きの棒のことで、短い棒の先に短冊状の白い紙や犬の革などが多数ついたものです。大名や総大将、軍師は「軍配」を、侍大将などの武将が「采配」をふるつたと言われます。

花弁が細長くかたまつて咲いた花が枝先で風になびく様子から

「采振り木」となったのです。

地方によってはシデザクラとかニレザクラの別名でも呼ばれます。シデザクラのシデとは「紙垂(四手)」を意味します。紙垂(四手)は注連縄や玉串、祓串、御幣などにつけて垂らす白紙のことで、これも白くて細長い花弁のイメージから来ています。後半にサクラの名がついているのは、農事目安木とした総称の「サクラ」を結びつけたものと考えられます。

またニレザクラとは、植木屋さんたちが葉の雰囲気のアキニレなどに似ているからと、呼んでいた名残とされますが、私にはあまり似ているようには思えません。

9〜10月に黒紫色に熟す果実は、直径6〜10mmの球形で白い粉をかぶり、鳥たちに人気があるので、私も食べてみたのですが取り上げるほど美味しいものではありません。

同じ仲間のジューンベリー

(June Berry) はセイヨウザイフリボクと呼ばれ、6月に濃赤紫色のナシ状果をつけます。ラエヴィス (*A. laevis*) やカナデンシス (*A. canadensis*) などの優良品種が販売されており、最近では公園などにも植えられ、セイヨウザイフリボクとかアメリカザイフリボクの名札が付いています。



白く美しい花を咲かせるザイフリボク

県では、「ぎふ木育」を全県展開するため、10箇所の農林事務所ごとに、地域で活動する木育関係者の交流会や、行政と意見交換する連絡会議を開催しています。その開催状況や、地域でぎふ木育を進めるキーパーソンをシリーズで紹介していきます。今号は可茂地域です。

可茂地域交流会・連絡会議を開催

今年は、可児市の我田の森（わがたのもり）で、交流会・連絡会議を行いました。交流会では、我田の森を中心に里山整備・保全活動を行っている「里山クラブ可児」と、我田の森をフィールドの一つとして森のようちえんを運営している「自然育児 こどもの庭」の2団体に活動の紹介をしていただきました。

参加者からは、実際の活動や保育の様子を見て、「近くに住んでいながら、こんなに素晴らしい活動をしているの知らなかった」「交流会に参加して良かった」といった声が聞かれました。

これを機に、さらに可茂地域の指導者の方の横のつながりで、ぎふ木育が広がることを期待します。

可茂地域のキーパーソン

園田 智子さん（一般社団法人こどもの庭 代表）

Q どのような活動をしていらっしゃいますか？

森のようちえん「自然育児 こどもの庭」の代表として、美濃加茂市や可児市などの森林や里山で保育を実施しています。

また、親子の会や小学生向け生き物講座も開催しています。

Q 活動するうえで大事にしていることは何ですか？

ご縁で繋がって「こどもの庭」ができています。出会いとご縁を大切にしたいですね。



Q 「ぎふ木育」を可茂地域で推進するうえで必要なことは何だと思いますか？

まずは、大人が森や里山に行くことは楽しいということを知る、体験することが大事。大人が森に入ること、こどもも森に入るきっかけになります。

森のようちえんでも、お母さん自身が森に入って、「心地良い」「心が開放される」「森のようちえんで出会う人といると楽しい」と感じてもらうことが大切だと感じています。

Q これからの森のようちえんについてどう思われますか？

岐阜県内の公立園でも、自然体験やこども主体の保育が広まっており、とても良いことだと感じています。

その一方で、私達のような森のようちえんにしか生み出せない価値もあると思います。「こどもの庭」では、保護者同士や保護者とスタッフの関わりが強く、保護者も自分事として一緒になって考えて行動する時間があります。コミュニティの中で子育てができるのが強みだと思うので大事にしていきたいですね。





ぎふ木遊館通信



ぎふ木遊館に新しいおもちゃが仲間入り！

ぎふ木遊館には100種類以上の木のおもちゃがあり、日替わりで皆さんに遊んでいただいています。今回は、新しく仲間入りしたおもちゃを紹介します♪

初めは、大きくてインパクトのある「ズレンガ」のおうち。立派なので、一見は形の変わらない遊具に見えますが、実は大きめのブロック積み木を組み立ててできています。ブロックはスギ、ブロックを繋ぐパーツはヒノキで作られていて、おうちの中は木のいい香りでいっぱいです。ゆくゆくは来館者のみなさんと一緒に組み立てて遊びたいと、スタッフ一同楽しみにしています。

次にご紹介するのは、「こま」。柄が長く、両手のひらを擦り合わせるようにして回します。昔はこの動作を火起こしなどの際に用いていましたが、今ではなかなかする機会のない動きです。楽しみながら指先・手先を動かすトレーニングができるのも、こま遊びの魅力です。

続いて、ぎふ木遊館でもおなじみのさるぼぼをモチーフにした積み木「つみぼぼ」のカラーバージョンをご紹介します。華やかな印象の赤色と、クールな黒色をお迎えしました！つみぼぼは従来の無塗装でも可愛いですが、赤と黒が加わることにより、積み木でできる作品の表現の幅が広がり、さらに遊びが盛り上がるようになりました！

最後に、木玉プールに今までになかった樹種「ブナ」「ナラ」「クリ」の木玉が加わりました。「ナラ」は重くて少しひんやりするので見分けやすいかもしれません。新しい木玉は手触りがサラツとしていて、まだ木のにおいが強いので、見つけたらぜひ匂いを嗅いでみてくださいね。



「ズレンガ」のおうちで遊ぶ子どもとさとやまさん



手触りも抜群の両手で回すこま



色のついた「つみぼぼ」



上から時計回りにブナ、ナラ、クリの木玉

子どもから大人まで夢中になれる積み木遊び

積み木は自由に遊んでももちろん楽しいですが、ミッションを与えられたら思わず夢中になりますよね。ぎふ木遊館では、2種類の積み木の「マスター認定証」を用意し、それぞれのミッションをクリアしたお客さんにプレゼントしています。

一つ目は、「からからつみきマスター認定証」です。小さな板状の「からからつみき」を自分の背より高く積めたらマスターに認定！簡単なルールですが、積み方次第で安定感や1段の高さが異なり、なかなか奥が深いです。この日マスターに認定されたお父さんは、「自分の目線を超えてから、バランスよく積むのが難しかった。」と楽しそうに話されていました。

二つ目は、「Tsumiboboマスター認定証」です。決められた3種類の積み方ができたら、それぞれマスターに認定！頭と体で比重の異なる「つみぼぼ」ならではのユニークな積み方に挑戦し、つみぼぼの面白さをよりいっそう感じていただけます。

2種類の積み木が木育ひろばに登場する日はいつでもチャレンジできますので、ぜひマスター目指して遊んでみてください！

～積み木マスター認定証～



自分の背より高く積んで、からからつみきマスター！



ご夫婦で3種類のマスターをコンプリート



ぎふ木遊館公式Instagram

ぎふ木遊館で行われる木育プログラムやイベント情報のほか、行きたい日に遊べるおもちゃが分かるカレンダーも発信しています。フォローお待ちしております！



GIFUMOKUYUKAN0717



やがてみんなの森になる **morinos** **プログラム紹介!!**

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

＜アカデミー教員プログラム 「おもちゃ作家と一緒に木のおもちゃを作ろう」＞

morinosでは、森に親しむ入口となる様々なプログラムを開催しています。

今回は、ナイフやノコギリ等、最小限の道具を使って木のおもちゃ作りをする「おもちゃ作家と一緒に木のおもちゃを作ろう」をご紹介します。講師は森林文化アカデミー木工専攻の前野健先生です。前野先生はアカデミー教員になる前、木のおもちゃをデザイン・製作する木工作家として活動されていました。現在でも年に数点のおもちゃのデザインをしながら、初心者でもナイフを使って楽しめる木工教室を開催しています。そんな前野先生をお招きした今回のプログラムには、保育士や教員、木育に興味・関心がある方が集まりました。

作っていくのはウサギの人形と自動車のおもちゃ。今回は材料となる木の伐採や運び出しもしました。伐採する木は、森林文化アカデミーの演習林に生えているリョウブとアラカシです。伐採する際に気を付けるポイントは、上部を観察して枯れ枝が落ちて来ないか確認すること。周囲に危険はないか等万全の注意を払うこと。参加者の皆さんは辺りを見渡して慎重に作業に入りました。おもちゃ作りのため、太さが3～5cm程度の比較的細い木を選んで伐採し、それを運び出しやすい大きさに切って持ち帰りました。

最初に作るのはウサギの人形。前野先生から人形の作り方とコツ、道具の扱い方について指導してもらいました。また、ナイフを扱う際は、使い終えたら必ずケースに入れること、腕を回しても周りに当たらない、安全な場所で扱うこと、刃先を寝かせてゆっくり、優しく動かすこと、と注意点も挙げてもらいました。採ってきた材を適当な長さにノコギリで切り、切り込みを入れて削ることでウサギの形に仕上げていきます。ポイントは、ナイフで削る方法と切り込みを入れて繊維方向に割る方法を組み合わせて作ることです。仕上げに、焼きペンで顔を描いて完成です。ウサギを作る予定でしたが、ネコになったりシカになったり…バリエーションが様々生まれました。

次は自動車作りに挑戦。ここでの重要なポイントは車軸を受ける溝作りです。前野先生がノコギリだけを使って三角形の車軸受け用の溝が作れることを示すと、参加者から驚きの声が上がりました。溝を作って、車輪を取り付けたら完成。運転席やハンドルをつけたり、ナイフで削ってレーシングカーのようにカッコよく仕上げたり…個性あふれる自動車が完成しました。最後に可愛いウサギの人形を自動車に乗せ、完成お披露目会をしました。「morinosモーターショーみたい」という声も上がり、多様な自動車＆人形が並びました。



前野先生（右）とアシスタントの丹羽さん（左）



おもちゃ作り用の木を伐採



材をノコギリで切り分ける



車軸受けの溝作り



完成した人形と自動車のおもちゃ

最後に、前野先生から「一連の流れを体験してもらうことで『自分にもできそう』という気持ちを持ってもらいたい。そして身近な場所で実践してもらえると嬉しい。」とコメントをいただきました。終了後には道具の扱い方やナイフの選び方の質問が出るなど、早速実践に向けて関心が高まっている様子が伺えました。おもちゃ作りを通して、木で「もの」を作る楽しさや森の利用の仕方について関心を持っていただけると嬉しいです。

morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

YouTube 検索「morinosチャンネル」

開館時間 10:00～16:00

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」



森林と人を 生かす知恵 148

森林・林業のこれからの可能性を考える

林業と〇〇の組み合わせで可能性は無限大

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 新津 裕

● 緑豊かな岐阜県

この森林のたよりを目にしていく方々にとっては言わずもがな、岐阜県は国内でも森林率第二位の森林大国です。日本全国の森林面積が67%である事から比較してもより森林が豊かなことが伺えます。

濃尾平野の山が近くに無い地域の方や住宅街に住む方にとっては森林という言葉があまり身近に感じないかもしれませんが、河畔林や社寺林・公園・街路樹など案外近くに森があるものです。

● 過去の林業の印象

私は岐阜県立森林文化アカデミーで教員を務めさせていただく以前、20代の頃から10年弱程度ですが県外の林業現場で働いてきました。当時の林業の現場は安全装備もまだ浸透しておらず、服装は作業着やニツカボツカが主流だった印象(20年近く前)です。新人が現場に入っても指導が出来る先輩は少なく「見て覚えろ」の日常でした。定期的に大きな怪我也も発生しており、日給月給で給料も安く危険な労働であることは肌で感じていました。これは

あくまで私の林業を経験した地域での話ですが、他県へ手伝いに行く事や逆に他県から現場の応援に来てもらう事もあったため、全国的とは言えませんが多くの地域の実情だったのではないのでしょうか。

● 変化の兆し

そんな林業の様子が少しずつ変化してきています。それは法整備の影響ももちろんありますが、それ以上に大きく感じているのは「緑の雇用」や「林業大学校」の存在です。今回はこれらの説明をするとそれだけで終わってしまうので、割愛しますが興味のある人は検索してみてください。

私自身も森林文化アカデミーで学生として学び、他県で緑の雇用による研修に参加させてもらった経緯があります。この中で感じたこれまでの林業の世界と大きな違いは【異分野交流】が生まれた事と【理論】で学べる機会が増えた点です。森林文化アカデミーでは現在も林業だけでなく森林環境教育・木造建築・木工と森林や木材に関連する学びを横断的に少人数で学ぶことが出来ます。中でも森と木のクリ

エーター科では社会人経験のある学生も多く、様々な経歴をもつ学生が入学することから森林や木材に関する新たな化学反応が生まれています。

また、緑の雇用でも職場の〇JT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)だけでなく集合研修が行われることで、様々な指導員から指導を受けることが出来、他事業体で同様の林業経験年数の仲間と交流することが出来ます。また田園回帰の流れもありインターン者の増加、別の業種から林業に転職する機会も大幅に増えたことでしょう。

林業だけの常識ではなく、様々な業界から林業に新しい視点や考え方が取り入れられてくることで、より安全に配慮した仕事の進め方や新たな技術の導入がかつての林業の印象を変えています。

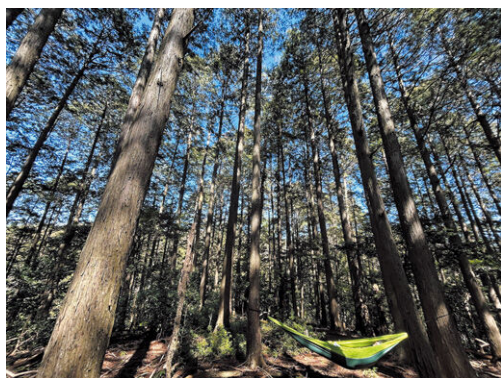
● 森林サービス産業

さらに追い風となっているのは林野庁が2019年から進めている【森林サービス産業】です。簡潔に言えば「木材生産以外の収入を得ていきましよう」という事です。これからは「観光」「教育」「福祉」をも組み合

わせながら森林空間を活用していきましようという考え方です。岐阜県でも2023年に『ぎふ森のある暮らし推進協議会』を立ち上げ、異業種交流や勉強会の実施、更にはプランナーの派遣なども行い森林空間を活用したいと考える会員を支援しています。

一般的な林業において、ある程度成長した森林内では間伐をしてから次の伐採までは10年以上空きます。つまりはその森林から木材売上での収入を得ることが出来ません。ならばその空白の期間を利用して複合的な森林活用を考えてみてはいかがでしょうか。

これからの森林での働き方はアウトドア・狩猟・山菜・キノコ・木工・IT・アート・健康・教育などの組み合わせで森林や林業の有する課題を考え直すチャンスです。その地域や森林・従業員の有するポテンシャルを新たな視点で「価値化」しワクワクする森づくりを一緒に行いませんか？



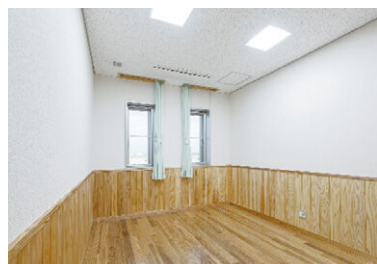
林業では日常の光景かもしれませんが・・・



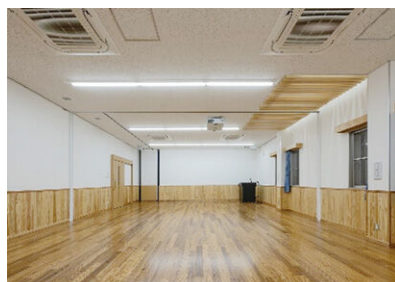
施設全景

施設の概要

事業年度	令和6年度
事業主体	西美濃農業協同組合
構造延床面積	鉄骨造 1階 645.03㎡
施設用途	農業協同組合支店事務所
木材使用量 使用樹種	4.19㎡ スギ・ヒノキ(県産材100%)
全体事業費	352,000千円
助成額	1,325千円
設計者	株式会社 野崎設計
施工業者	株式会社 大橋組
工期	令和5年9月～令和6年11月



相談室



会議室

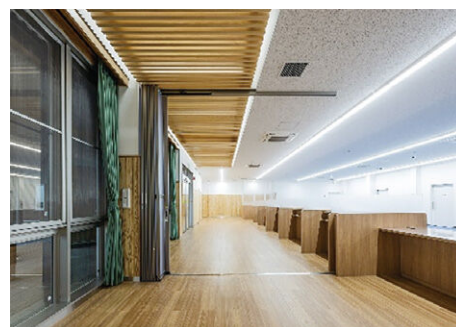
施設の経緯

JAにしみの、大垣市・海津市・神戸町・安八町・輪之内町・養老町・垂井町・関ヶ原町を事業エリアとしており、このたび、養老町内の4支店を一か所に集約した新店舗を建設いたしました。

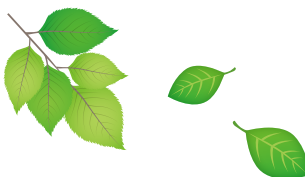
店舗内装には岐阜県産スギやヒノキ材をふんだんに使用し、利用者に親しんでいただける店舗づくりを目指しました。



ATMコーナー



来店者待合



ここに注目!!

相談室や会議室の床や壁にも県産材を使用しており、落ち着いた雰囲気の中でご相談いただけます。

利用者の様子

木の温かみを感じることができる空間になったと、お客様からの評判も上々です。

問い合わせ先



JAにしみの本店 管財課
TEL 0584-73-8196

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

1

清流の国ぎふ地域活動促進事業 ～住民主体の創意工夫を凝らした森づくり・川づくり～

平成24年度から令和6年度までの13年間で延べ605件の事業が実施されました。

令和7年度は、44の団体がそれぞれ特色ある事業を実施します。

団体名	事業名
三輪の里山を守る会	恵みの森づくり推進事業
NPO法人 長良川自然学校	長良川 川の学校事業
NPO法人 e-plus生涯学習研究所	「清流と未来をつなぐ力 ～SDGsで守る生物多様性～」
NPO法人 竹林救援隊	竹林の間伐と放置竹林を無くすための啓発活動
飛騨五木株式会社	岐阜文化の繋がりから育む親子向け木育活動の促進
つなぐ「わ」	自然の恵みをすべての人へつなぐ推進事業
という	田んぼを持続可能な遊び場に変身
ぎなんプレーパークの会	森を感じよう 2025 ～ぎなんプレーパーク～
笠松の自然と共生を考える会	笠松町における生物多様性保全事業
木の駅上石津実行委員会	森林資源の森づくり
(一社) ぎふ地球環境塾	ぎふ地球環境塾
(一社) よだか総合研究所	根尾川むいむいの森 環境整備と森の学習
(一社) いび森のようちえん こだぬき	小さな子も、一緒に森へ行こう
NPO法人 揖斐自然環境レンジャー	徳山ダム上流に実のなる木を植えよう大作戦
小津区自治会	小津地域を主体とした森づくり事業
大谷桜公園・里山づくりの会	大谷桜公園・里山づくり推進事業
関市広見交遊会	関広見 IC ふれあい遊歩道整備事業
エゴノキプロジェクト実行委員会	エゴノキプロジェクト
NPO愛宕山ランド	子どもと自然をぐっと近づける森づくり
郡上漁業協同組合	第15回長良川源流の森育成事業
明宝ジビエ研究会	明宝の森とエコサイクル推進事業
金谷里山整備支隊	ボランティアの力で荒廃里山を再生しよう2025
大洞里山整備隊	整備した森を活用した森の学校実施事業
(一社) こどもの庭	里山保全活動の継続および人材育成のための環境教育・里山サロン事業
三和まちづくり協議会	三和まちづくりプロジェクト △ stage2 △
中之番自治会	白隠の里森林整備活用事業
MINOKAMO里山トレイル	森林空間を活用したトレッキング及び森林整備事業
木曽川左岸遊歩道友の会	木曽川左岸遊歩道等周辺整備事業
NPO法人 坂祝まちづくり推進機構	さかほぎトレッキング登山道整備事業
半布里の郷	富加町の自然を育む里山整備活動

団体名	事業名
可茂森林組合	R7 森林との関係人口創出プロジェクト【エコ薪】でCO2削減せよ!
NPO法人 美濃白川どんぐり会	落葉樹林 植林・育成事業
NPO法人 明日の稲津を築く まちづくり推進協議会	黒の田湿地及び周辺の環境保全再整備並びにPR活動事業
いのちもり	森と暮らしの学校事業
ひるかわ里山活性化委員会	里山活性化事業
NPO法人 奥矢作森林塾	松本地区における森づくりと担い手づくり活動
中切区里山環境整備活動組織	中切区里山整備事業
NPO法人 活エネルギーアカデミー	山の恵みと共存するプロジェクト
二本木生産森林組合	飛騨高山「彦谷の里」里山活用と広葉樹林育成事業
和草園ははその杜づくり会	五感をひらく森づくりプロジェクト
飛騨木遊館運営協議会	森林環境教育推進事業
森の自然学校	清流の森づくり 2025
高山南の森保全の会	高山南エリア里山林整備事業
NPO法人 飛騨漆の森プロジェクト	飛騨漆の森づくり推進事業赤保木第1区

●令和6年度実施事業



木と家まつわるエトセラ
(森と木を活かした持続可能な環境づくり啓発推進事業)



という
(お山と小川で遊ぼう! IN 山県)



NPO法人 飛騨漆の森プロジェクト
(飛騨漆の森づくり推進事業)



(一社) DRC 協会
(無人機で見直す清流の水環境)

災害に強い森林作業用道路の適地を見える化！

～路網整備難易度推定図を公開しています～

森林研究所 白田 寿生

はじめに

森林整備を効率的に進めるためには、森林内の路網（森林内の各種道路）の整備が必要です。しかし、森林内の路網整備には地形改変を伴うことから、急傾斜地などの地形条件の厳しい場所では、斜面崩壊や土石流などの山地災害を引き起こす恐れがあります。特に森林内の路網のうち、森林作業のために整備される「林業専用道」および「森林作業道」は、切土と盛土による土構造の作設が基本であることから、作設に適した場所が限定されることに留意し、路網整備を進めることが重要です。

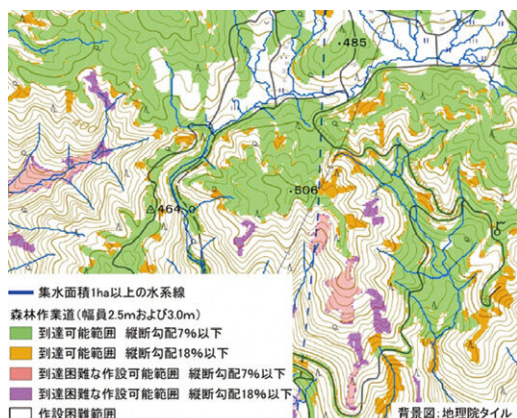
そこで当所では、災害に強い土構造の路網整備に適した場所をわかりやすくするための路網整備難易度推定図を作成しました。

路網整備難易度推定図の特徴

路網整備難易度推定図は、崩壊が発生しにくい路網を整備する上での難易度を示した地図です。ここでは、この図の凡例に示されているそ

れぞれの範囲について説明します。

「到達可能範囲」は、県が定める林業専用道および森林作業道の作設指針等に基づいた道路構造（幅員、切土・盛土の高さ、縦断勾配など）を満たす作設が可能かつ既設一般道との接続が可能と推定した範囲であるため、災害に強い路網整備に適していると考えられます。ただし、谷などの水が集まりやすい場所では、「到達可能範囲」であっても豪雨時には路網が被災しやすくなります。



路網整備難易度推定図

このため、特に水が集まりやすいと考えられる集水面積1ha以上の水系線もあわせて表示しています。

「作設困難範囲」は、作設指針等に基づいた道路構造を満たす作設が困難と推定した範囲であるため、路網整備による崩壊発生リスクが高いと考えられます。

「到達困難な作設可能範囲」は、作設指針等に基づいた道路構造を満たす作設が可能ではあるものの、既設一般道までの間が作設困難と推定した範囲です。このため、現状では、この範囲までの土構造による路網整備は困難と推察されますが、将来、一般道などがこの範囲まで延伸された場合には「到達可能範囲」と同等の範囲として利用できる可能性があります。

路網整備難易度推定図の活用方法

災害に強い路網整備の適地を選定する際には、「路網整備難易度推定図」を参照し、できる限り「到達可能範囲」で整備を進めることで崩壊発生リスクを抑えることができます。また、災害に強い路網整備を進める上では、万が一の土砂流出に備えて周辺の家屋等の保全対象への影響も考慮することが重要です。特に道路の崩壊にともなう土石流が発生した場合には、甚大な被害につな

がる恐れがあることにも留意が必要です。

森林のたより848号では、土石流が発生した際の家屋等の建物が被災するリスクの評価を支援する地図として、当所が作成した「土石流災害リスク評価支援図」をご紹介します。

災害に強い路網整備の適地を選定する際には「路網整備難易度推定図」による崩壊発生リスクの確認に加えて、「土石流災害リスク評価支援図」を参照し、建物までの距離が十分に確保されているなど保全対象の被災リスクが低い場所であることを確認することも重要です。

なお、ご紹介した地図は、過去に取得した地形データなどの限られた情報から作成したものであるため、必ず最新の現地状況も確認した上で、最終的な判断を行ってください。

おわりに

「路網整備難易度推定図」および「土石流災害リスク評価支援図」は県内全域分を作成し、これらの地図の活用方法の解説書とともに当所のウェブサイトでご覧いただけます。整備のためにぜひご活用ください。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-336-2585



森林研究所まで

下呂地域における林業普及活動

下呂農林事務所 林業普及指導員 鍋倉 賢二



あわせて紹介します。

森林経営管理制度の実施状況

下呂農林事務所では、岐阜県の中東部に位置する下呂市のエリアを管轄しています。管内の総土地面積のうち、約92%に当たる約78千ヘクタールが森林であり、そのうち約55千ヘクタールを民有林が占めています。人工林率は県平均を大きく上回る62%で、その約7割をヒノキが占めています。

地域の森林整備の担い手としては、1つの森林組合(南ひだ森林組合)と10の林業事業体があり、66名の森林技術者が従事しています。令和6年度の管内の木材生産量は、約59千㎥となる見込みであり、近年は主伐・再造林にも取り組んでいます。また下呂市は、各地区の森林所有者で組織された森林造成組合が残る県内唯一の地域です。森林造成組合は、地域の森林に精通している組織であり、現在でも精力的に活動しています。

今回は、下呂市がすすめる森林経営管理制度を活用した森林整備の実施状況と、林業普及活動の取組みを



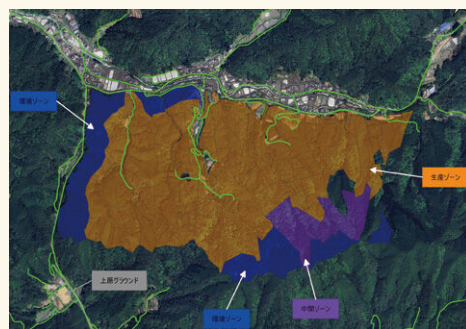
森林経営管理制度の説明会の様子

令和元年度に森林経営管理法が施行されるとともに森林環境譲与税の譲与が開始されました。下呂市は市有林人工林面積が大きいこともあり、令和6年度以降は約2億2千万円の交付が見込まれています。この森林環境譲与税を活用し、下呂市では、未整備森林を解消することを目

標に、森林整備に取り組んでいます。

森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査については、南ひだ森林組合への業務委託により実施されています。令和2年度の馬瀬惣島地区をはじめに、これまで合計21地区、約2,700ヘクタールの森林所有者に対して、森林経営管理制度の説明会と意向調査が行われました。

また業務委託では、意向調査に加えて、森林の現地(プロット)調査、経営管理権集積計画(案)の作成までを一括して実施する内容となっています。経営管理権集積計画(案)では、林道等が近く、利用間伐により収益が期待できる範囲を「生産ゾーン」、林道等が遠く利用間伐による収益が期待できない範囲を「環境ゾーン」に区分されます。このうち、「環境ゾーン」に区分された森林が、森林環境譲与税を活用した森林整備の対象となります。



経営管理権集積計画(案)の例
(オレンジ:生産ゾーン、青:環境ゾーン)

経営管理権集積計画(案)の作成後は、再度、森林所有者への説明会が実施され、森林所有者からの同意を得られた森林に対して、実際に森林整備が実施されます。なお、「生産ゾーン」に区分された森林については、その殆どを林業事業体との個別契約により森林整備を委託することになります。

森林経営管理制度を活用した森林整備の受け皿としては、令和4年7月に設立された、「下呂市森林整備協会」が受け持ちます。会員は、林業事業体9社と建設業者10社となります。実績として、14地区約330ヘクタールの森林で森林経営管理制度を活用した森林整備(切捨て間伐)が実施されました。森林環境譲与税を活用した下呂市の間伐実績は県下ではトップクラスの数値となっております。

ます。

令和6年度は、林業普及指導員として森林経営管理制度の説明会・意向調査や、経営管理権集積計画(案)の説明会・同意取得に対して継続的に支援を行いました。

上原財産区による植林体験活動の支援

上原財産区による上原小学校の生徒を対象とした森林整備の体験活動への支援を行いました。従来は、「間伐」や「枝打ち」を体験活動の内容としていましたが、令和6年度は初めて「植林」を内容とした体験活動が実施されました。

活動当日の天気は雲一つない快晴であり、絶好の天気のもと、上原小学校の3年生(6年生の生徒24人が植林体験に参加しました。初めに講師からコンテナ苗の植え方について説明があり、その後、合計300本のコンテナ苗が生徒に配布されました。

植林地は、緩やかな斜面地ではあるものの、子供達は元気な足取りでどんどん植えていき、300本の植林はあっという間に終わりました。また植林後には、講師による大木伐倒の実演が行われ、伐倒時には、生徒たちから大きな歓声があがりました。



講師による植え方の説明



植林体験の様子

活動の中で、子供達からは様々な感想を聞くことができました。この活動が、子供達にとっていい思い出になるとともに、森林整備の大切さを学ぶ良い機会になったと思います。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0576-5213111

下呂農林事務所まで

森林技術開発・支援センター 林業普及通信

林業普及指導員資格試験について

岐阜県では、森林の有する多面的機能の発揮と林業の持続的かつ健全な発展のため、各農林事務所と森林文化アカデミーに26名の林業普及指導員(Ag)を置き、様々な施策を推進しています。

林業普及指導員は森林法でその職務が位置づけられており、主な役割は次のとおりです。

- ① 試験研究機関と密接な連絡を保ち、専門の事項の調査研究を実施
- ② 森林所有者や林業に従事する方への林業の技術及び知識の普及
- ③ 林業の施策に関する指導
- ④ 市町村森林整備計画の作成等で、市町村の求めに応じて専門的な技術及び知識を必要とする事項への協力

林業普及指導員として業務にあたるには林業普及指導員資格試験に合格する必要があります。

今号が皆さんのお手元に届くころには受験申込は受付終了しているかもしれませんが、これから林業普及指導員を目指す人のためにも、どんな試験であるかを紹介したいと思います。

試験区分

林業一般区分と地域森林総合監理区分の2種類があります。地域森林総合監理区分の合格者が森林総合監理士

(フォレストー)に登録されます。

受験資格

学歴等に応じて一定の職務経験が必要となります。

試験科目

林業一般：筆記試験及び口述試験

筆記試験は択一式と小論文式で、択一式は一般基礎と専門(森林経営、施業技術、林産の3つから1つを選択)、小論文式はさらに細かく分かれた分野から選択。口述試験は小論文式試験で選んだ専門分野ごとに行われます。

地域森林総合監理：筆記試験及び口述試験

筆記試験は択一式と記述式で、森林の総合的基本的知識及び森林づくり等の構想を提示できる能力を問われます。口述試験は、筆記試験後に作成する技術的体験論文等をもとに行われます。

試験日程

- 4月～5月上旬 出願受付
- 7月下旬 筆記試験
- 9月下旬 筆記試験合格発表
- 10月～11月 口述試験
- 11月下旬 合格発表

●詳しい内容を知りたい方は

TEL0576-5213111

森林文化アカデミー

森林技術開発支援センター

普及企画係まで

「金華山を火災から守れ！」 消防訓練が行われました

「放水はじめ！」の号令の下三〇〇mの標高差をポンプアップされた水が勢いよく金華山の空に向け放水されました。



二月二十八日、岐阜市にある金華山国有林において行われた、林野火災防御訓練について報告します。

この取組は、「春の火災予防運動」を前に岐阜市消防本部が主体となって毎年実施されており、今回は、岐

阜市内各消防署、岐阜県防災航空隊、岐阜森林管理署、ロープウェイ事業者などから、約一七〇名が参加しました。

訓練では、金華山中腹から出火したとの想定で行われ、県防災航空隊のヘリコプターが長良川の水を汲んでまく空中消火訓練が行われました。



また、地上では、各消防署が、山の麓の岐阜公園及び岐阜森林事務所からの二つの登山道を利用し、山頂までの標高差約三〇〇m、延長約一〇〇〇mの間に消火ホースを引き延ばして放水したほか、当署では、ジェットシューターによる残火処理放水を行いました。



このほか、市役所やロープウェイ事業者が、観光客や登山者の避難誘導を行うなど、関係機関が連携して訓練にあたりました。

訓練後、岐阜市副市長から、「金華山では、平成十六年から火災が起きていないのは、関係機関が防火対策

に取り組んだ成果。有事には訓練を活かし消火活動を行うことになるが、引き続き防火啓蒙活動の協力をお願いしたい」との講評がありました。

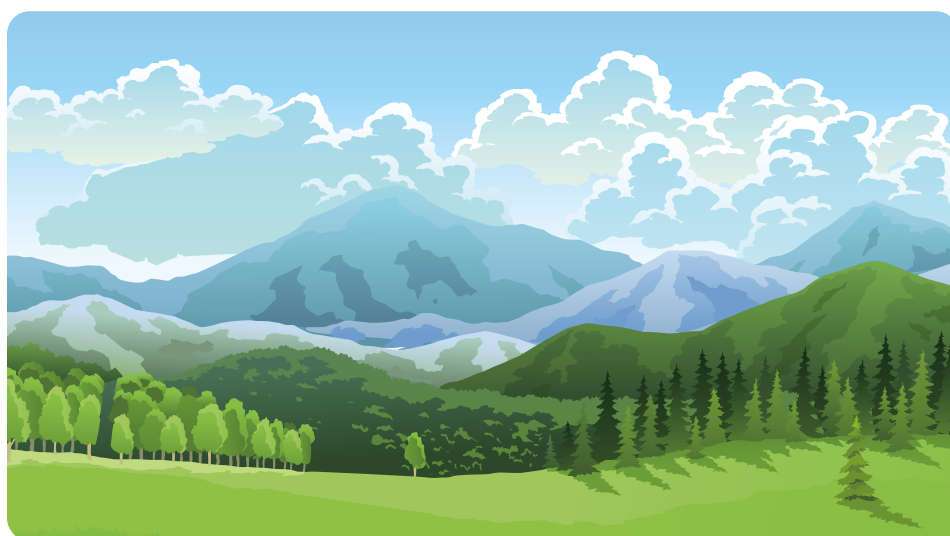
今回の訓練で、山林でひとたび火災が発生すると急峻な地形と水利がないことから、消火には大変苦労することがジェットシューターを背負い訓練したことで身にしみて感じました。

金華山登山道は、岐阜市の条例で路上喫煙禁止区域に指定されていますが、パトロールを行うとタバコの吸い殻が確認されています。二〇〇二年四月五日には、岐阜市東部にある権現山一帯で大規模な林野火災が発生し被害面積は約四一〇haとなりました。当時のことを記憶されている方も多いのではないかと思います。金華山に限らず山火事予防に心がけてほしいと思います。

当署では、林野巡視等を通じて関係機関と協力しながら、引き続き山火事防止活動に努めます。

(岐阜森林管理署)

開催日	行事名等	内 容 等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所 申込(問合せ)先/TEL
5月20日(火)~ 5月23日(金)	フォークリフト運転技能講習 受講資格 自動車普通運転免許所持者	●講習時間 1日目: 学科 8:45~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目: 実技・試験 8:00~17:30 ●申 込: 開催日の20日前まで ●受講料: 32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員: 20名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門850-67) (実技) ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月3日(火)	刈払機取扱作業 安全衛生教育	●講習時間: 学科 8:55~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 11,770円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	郡上森林組合(郡上市八幡町稲成525-7) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
6月11日(水)~ 6月13日(金)	伐木等の業務(チェーンソー) に係る特別教育	●講習時間 11日 学科 8:50~17:10 12日 学・実 8:50~12:30 13日 実技 8:30~17:10 ●申 込: 開催日の10日前まで ●受講料: 24,200円(本代含む)(振込み) ●定 員: 30名(定員になり次第締め切ります。)	11日(学科) 12日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東2-5-6) 13日(実技) 樹木の国 土場(山県市椎倉203-1) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



5月11日(日)より岐阜の鵜飼シーズンが幕を開けます。昨年、お盆前に涼を求めてWebサイトから申し込みをして関市の小瀬鵜飼を訪れました。乗船すると、船上で食事を楽しみながら上流に向います。しばらくすると、宮内庁式部職の鵜匠による解説が始まります。小瀬鵜飼の歴史、鵜の世話、そして鵜に装着する「首結い」と呼ばれる装具について貴重な話を聞くことができました。

いよいよ漁の時間となると、鵜船と観覧船が並んで川を下る「狩り下り」が始まります。篝火が水面に映り揺れる中、鵜匠の見事な手縄さばきに目を奪われます。鵜が魚を捕える瞬間は圧巻で、水しぶきと鵜の息遣いが間近に感じられ、迫力と優雅さに心を奪われました。

この素晴らしい伝統漁法と、長良川の美しさを、より多くの方に知っていただきたいと思います。

「森林のたより」編集委員 岐阜県森林組合連合会 山下 篤志

イベント情報

6月1日発行

連載

●山の歳時記(238)

地域の人

清流と森と親しむ

●森林と人を活かす知恵(149)

木と親しむ

●岐阜県の公共木造建築(146)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

●研究・普及コーナー

市況情報

その他

6月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配
第1882回 岐阜共販所 4月8日	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	→
		4 m	16~18cm	14,000	—	↗
			20~22cm	14,500	—	↗
			24~28cm	14,400	—	↗
			30cm以上	13,000	23,100	→
	ひのき	6 m	16~22cm	17,200	—	→
		3 m	16~18cm	21,100	—	↗
			20cm以上	18,900	—	↗
		4 m	16~22cm	20,700	—	↗
			24~28cm	19,000	—	↗
			30cm以上	18,700	30,200	↗
		6 m	16~18cm	—	—	→
第1477回 飛騨共販所 4月9日	すぎ	3 m	16~22cm	14,500	—	→
		4 m	24~28cm	14,600	—	→
			30cm以上	14,000	18,000	→
	ひのき	3 m	16~18cm	21,000	—	→
		4 m	20~22cm	20,500	—	→
			24~28cm	19,500	—	→
			30cm以上	—	70,000	→
		6 m	16~20cm	—	—	→
	ひめこ	4 m	24~30cm	14,000	—	↘
		5 m	30cm以上	14,000	42,800	↘
			40cm以上	—	43,900	↘
	くり	4 m	24cm以上	15,000	82,220	→
第1811回 東濃共販所 4月3日	すぎ	3 m	16~22cm	14,700	—	→
		4 m	24~28cm	14,400	16,000	→
			30cm以上元	15,000	—	↗
	ひのき	3 m	16~22cm	21,300	33,000	→
			24~28cm	20,000	30,000	→
			30cm以上元	28,000	33,000	→
		4 m	13cm以下	12,000	—	↗
			16~22cm	21,300	—	→
			24~28cm	19,800	—	→
			30cm以上元	29,000	63,000	→
		6 m	18~22cm	29,500	—	→
	まつ	4 m	30cm以上元	—	—	→

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ4mの元木、尺上良材は、入札多数で活気あり、価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は保合。ヒノキ元木良材4mは入札旺盛で活気あり、価格は強含みで引き合いは強い。ヒノキ3m・4m構造材の価格は強含みで推移。合板向けの価格は強含みで納材は順調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材ともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

スギ、ヒノキ並材は横ばいで推移。ヒメコ4m(40cm以上)良材は引き合いが強いが並材は弱含み。アカマツ、ヒメコは伐採シーズンが終わり弱含み。広葉樹の良材は応札旺盛で30cm以上良材に人気が集まった。高値はヒノキ4m×40cm@70,000円、ヒノキ2m×40cm@70,000円、ヒメコ4m×44cm@42,800円、イチイ3.8m×22cm@51,000円、トチ4.6m×74cm@559,000円、トチ1.6m×72cm@219,000円/本、クリ2.1m×50cm@55,000円、クリ3m×46cm@81,000円、クリ4m×48cm@82,220円、ナラ4.6m×36cm@61,500円、ホウ2.1m×36cm@40,200円。(飛騨)

ヒノキは、役物良材が応札多数で活気。3m・4m尺上材は引き合いは強い。中目材も地元工務店を中心に強気は継続。3m柱向け、4m土台向け、中目構造材も引き合いは強く手堅い売れ行きで価格は強含みで継続。スギは、中目、尺上、元木良材が底堅く価格保合で推移。目荒等並材は価格も伸び悩み売りづらは継続。4m(24cm以上)構造材は保合、同3mも保合で推移。6m長柱向け(18cm~22cm)は引き続き好調を維持。合板向けは、価格保合ながらも納材は順調。ラミナ向けはスギ、ヒノキともに活発な動きあり。(東濃)

製品卸売標準価格 (3月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	80,000	(3,528)	→
	柱	3000	120	120	特等	75,000	(3,240)	→
		6000	120	120	特等	155,000	(13,392)	→
W 集 ウ ッ ッ 成 材 材	柱	3000	105	105	国産5層	85,000	(2,800)	→
		3000	120	120	国産5層	88,000	(3,800)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (3月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹 種	規 格	価格	前月比較
米 松	SSタイプ	396	→
	コースト(目荒)	425	↑
米 梅	ヘム(アラスカ産)	468	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

ちょうし あ
超仕上げ

これってなあに? ~木材用語~

木材の表面を仕上げる加工の一種。木材表面を手鉋や専用の鉋盤を使って薄く削り、極めて平滑で光沢のある状態にすること。超仕上げをした表面は撥水性が高まるため、無塗装で化粧材として使用されることが多い。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典